

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年4月10日(2014.4.10)

【公表番号】特表2013-520431(P2013-520431A)

【公表日】平成25年6月6日(2013.6.6)

【年通号数】公開・登録公報2013-028

【出願番号】特願2012-554013(P2012-554013)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	33/24	(2006.01)
A 6 1 K	31/337	(2006.01)
A 6 1 K	31/7105	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	Z N A
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	33/24	
A 6 1 K	31/337	
A 6 1 K	31/7105	
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月14日(2014.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者にニューレグリンアンタゴニストの有効量を含んでなる、癌患者の腫瘍再発までの時間を増やすための剤。

【請求項2】

別の治療薬と組み合わせて投与される、請求項1に記載の剤。

【請求項3】

別の治療薬が化学療法剤又は抗体である、請求項2に記載の剤。

【請求項4】

化学療法剤がパクリタキセル又はシスプラチニン、又はパクリタキセルとシスプラチニンの組み合わせである、請求項3に記載の剤。

【請求項5】

抗体がEGFR, HER2、HER3、又はHER4抗体である、請求項3に記載の剤。

【請求項6】

癌が非小細胞肺癌、乳癌、卵巣癌、頭頸部癌、子宮頸癌、膀胱癌、食道癌、前立腺癌、又は大腸癌からなる群から選択される、請求項1に記載の剤。

【請求項7】

腫瘍再発までの期間の増加が、ニューレグリンアンタゴニストの非存在下における再発までの期間より少なくとも1.25倍大きい、請求項1に記載の剤。

【請求項8】

腫瘍再発までの期間の増加が、ニューレグリンアンタゴニストの非存在下における再発までの期間より少なくとも1.50倍大きい、請求項1に記載の剤。

【請求項9】

ニューレグリンアンタゴニストは、抗体、小分子、イムノアドヘシン、又はRNAである、請求項1に記載の剤。

【請求項10】

ニューレグリンアンタゴニストがNRG1アンタゴニストである、請求項1に記載の剤。

。

【請求項11】

ニューレグリンアンタゴニストが抗NRG1抗体である、請求項1に記載の剤。